

平成28年産 紀南のみかん産地情報

2016/07/08

1. 4月から開花期にかけて、気温が平年に比べ高く推移したため、満開日は早生で4月30日と、前年より4日程度、平年より9日程度早くなった。

その後も平年を上回る気温によって第一次生理落果は多くなったが、心配されていた第二次落果は少なくなり、現在は順調に生育している。



2. 本年の早生みかんは裏まわりにあたるが、園・樹によりバラツキはあるものの着果は多い傾向にあるため、果実品質向上のため摘果やマルチ被覆、フィガロン散布を呼びかけている。

7月5日時点の果実肥大は、早生みかんで果径は32.6mm（前年比99.7%、平年比111.6%）と良好である。

3. 今年産の生産予想量（7月8日時点）

| 品目 | 面積(ha) | 生産予想量(t) | 前年比 | 平年比 |
|----------|--------|----------|--------|--------|
| 極早生 | 198.4 | 3,448 | 100.4% | 101.5% |
| 早生 | 461.1 | 6,188 | 96.9% | 90.8% |
| 合計(普通含む) | 663.6 | 9,671 | 98.1% | 94.4% |

生産量は今後の気象等により変動することがある。

4. 病害虫については、特に目立った発生は見られず、順調に生育している。
5. 果実生育期の気温は、平年より高く推移している。また降水量は、5月中旬から6月中旬までは平年より少なくなったが、6月下旬には平年を上回る降雨があった。

